

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌 名	やぶなべ
号/発行年/頁	26 / 1982 / 45-46
タイトル	梵珠山の植物
著 者 名	和田龍一

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

梵珠山の植物

和 田 龍 一

6月12日に調べた所は、梵珠山のふもとの平原と梵珠山です。ただ、ふもとのところでは、30分ほどわき道に入っただけです。梵珠山は2時間ほどかけてまわり、山道にぞって植物を確認しました。

梵珠山の調査は今までで、たこじかなく、今年もこれ一回限りの調査なので、確認した植物と簡単な説明にします。

※尚番号のついたものは、部で標本として保存してあるものです。

(1) 梵珠山のふもと

1. フジ

2. キジムシロ(ばら科) *Potentilla fragarioides* var. *major*

花期が過ぎて花の数は少なかったのですが株は多く見られた。

3. ミヤコグサ(ほめ科) *Lotus corniculatus*

4. ヒメタガソデソウ

入って行、た道の日あたりのよい場所に見られた。

ここの草原には、この他あぶらな科の一種が見られ、田んぼには水草の一種が見られました。写真からでは同定できませんでした。

(2) 梵珠山

私たちはじじターセニターのおち方から登り、寺屋敷広場、釈迦堂山を経て、入山者指導所のある口におりました。所要時間は約2時間で、だいぶ早いペースです。

5. ツクバネソウ(ゆり科) *Paris tetraphylla*

これが花かと思われるような花。高さ25cmほど、大きな四枚の葉がっきます。

6. オドリコソウ(しじ科) *Lamium album* var. *barbatum*

登山道入口付近と山頂付近で確認。花をつけており高さ40~50cm

7. ニキササ (ゆり科) *Smilacina japonica*

登山道のわきでよく見られ、高さ40cmほど。ゆるく湾曲して、花は白く、たくさんつく。

8. ギンラン (さん科) *Cephalanthera erecta*

県内ではよく見られる。

9. オククルマムグラ (あかね科) *Galium trifloriforme*

先が小さくとがり、葉が広めなので、オククルマムグラと固定。登山道わきで見え。白い小さな花を4つつけていた。

10. サワハコベ (なでしこ科) *Stellaria diversiflora*

山腹の石のころがたところに生える。4枚の花弁の先に切れこみがはいる。

11. ジンヨウイチヤクソウ (いちやくそう科) *Pyrola renifolia*

山腹の少し乾燥した地面に生える。花をつけており、細い地下茎が確認できた。

・マイヅルソウ

山全体としては、花期を過ぎていたようだ。

・ギンリョウソウ

山頂付近で確認。出はじめで、土から頭をわずかに出している程度。大きな株が見られた。

12. ツボスミレ (すみれ科) *Viola verecunda*

寺屋敷広場から釈迦堂への道端に咲く。また、下の湿地でも見られた。

・カタクリ、アマニュウ

14. キジムシロ (ばら科) *Potentilla fragarioides* var. *major*

・コンロンソウ

入山者指導所の近くの道端で確認。

15・16. オオバキスミレ (すみれ科) *Viola brevistipulata*

湿地で2個体確認。高さ20cmほど。花は終りかけ。

以上が私が確認したとおりですが、中には写真で固定したものもあり、確実とはいえません。私の感想としては、あまりに山が整備されて、花に生命力が感じられなかったような気がします。